



## 2学期、ありがとうございました!!

本日で82日間の2学期が終了しました。様々な学校行事がつまったこの2学期、保護者の皆様には多大なるご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、本日の終業式では、生徒たちに次のような話をしました。

◆ 2学期での各生徒の頑張りを10点満点で自己採点してもらいました。

今日で82日間の2学期が終了。例年にも増して猛暑日が続く大変暑い中での2学期のスタートでした。そんな2学期、みなさんは学校生活を楽しみ、そして自分を成長させるための努力を重ねることができたでしょうか。

2学期の始業式で、池江璃花子選手や阿部一二三選手の話や、夏の甲子園の選手宣誓から、「努力したとしても報われるとは限らない。しかし、努力しなければ報われることはない。」という話をした。

□ 努力しなければ報われることはない。

□ 努力したもののみが望む結果を得ることができる。

この2つを肝に銘じ、努力を重ねられる人間、努力する人を応援できる人間になってほしい。そしてそれを意識して、3学期や令和7年に向けての具体的な目標を設定してほしい。

今年1年を振り返った時に、校長先生が個人的にどうしても気になることがある。それは、この1年、全国的に「いじめ」などによって引き起こされた大きな事件や事故が非常に多かったこと。特に、3年前に旭川市で当時中学2年だった女子生徒が死亡しているのが見つかった事件で、これはいじめが原因の自殺だったとする報告書が発表されたこと。

いじめやその裁判の報道は驚くほどたくさんある。文部科学省の調査では、令和5年度の全国でのいじめ発生件数は、732,568件。年々増え続けている。

「いじめ」についてこのようなことをよく聞く。いじめをしたといわれる人は、よく「いじっただけ」とか「ちょっとからかっただけ」「ひやかっただけ」「ふざけただけ」という。「だから、僕は私はいじめてはいない」という考えのようで、みなさんもこのような話はよく耳に思うと思う。

でも、「いじる・からかう・ひやかす・ふざける」は、あくまでも加害者側の視点や考え。被害者すなわち「いじられる・からかわれる・ひやかされる・ふざけられる」ひとの気持ちは全く考えられていない言葉。いじったり、からかったり、ひやかしたり、ふざけたりする方はそれほどの考えがなくやっつけてしまっていることでも、される側からすると、実はとてもいやで、傷つき、ショックなこと。

相手の気持ちをきちんと考え、尊重しない行動がいじめにつながっている。相手の気持ちを考えながら行動することを、当たり前にしてほしいと思う。

明日からは冬休みです。目標を明確にして過ごし、「ただなんとなく1日1日が過ぎてしまった」とならないように、15日間の冬休みを有意義に過ごしてほしい。1月8日水曜日の始業式に、元気な皆さんに会えることを楽しみにしている。

## 2学期の反省（各学年代表生徒から）

### 【第1学年】

1年2組 小玉 瑞葡

2学期でよかったと思う点は2つあります。まず1つ目は、「書くときは書く、聴くときは聴く、解くときは解く」を守り、メリハリをつけて行動できるようになってきたことです。これができるようになったことで、集中して授業に取り組めることが増えてきました。

2つ目は、移動教室のときの移動が早くなったことです。そのおかげで余裕を持って授業を受けられるようになってきました。これらの成長した点を伸ばせるように、これからも努力していきたいです。

しかし、その一方で課題もいくつかあります。例えば、2分前着席があげられます。2分前になっても座っていなかったり、座っていても落ち着きがなかったり、さらに準備ができていない人もいます。さらに、授業中、「先生、忘れ物をしたので、後ろのカバンに取りに行っていていいですか。」という声が聞こえてくるのも現状です。

今後は、学級委員はもちろん、各班の班長にも協力してもらって、個人的に呼びかけをしたり、ときには先生にもお力を借りたりして改善していきたいです。

3学期は、成長した点をさらに伸ばし、課題を徹底的になくし、1年間を終わらせたいと思います。

### 【第2学年】

2年2組 金山 瑛太

2学期を振り返ると、学年全体の反省点と成長した点はそれぞれ3つずつあります。

まず、反省点の1つ目は、3分前着席・学習のことにについてです。休み時間の過ごし方を見ていると、次の授業の準備を、休み時間の前半ではなく後半にやっている人がいたり、三分前の着席・学習の呼びかけをしてもなかなか行動しない人がいたり、学年全体でさわがしかったりするなどの反省点があります。

2つ目は授業態度のことにについてです。授業中に、話しては駄目なところで話している人がいたり、先生の話聞いていない人がいたりします。

3つ目は、移動教室についてですが、移動中に話してしまうことがある点です。しゃべって移動すると、周りに迷惑がかかり、時間もかかるということが起こります。しかし、整列の素早さという点では、1学期より良くなっています。

次に成長した点です。1つ目は、「30分いただきます」についてです。より早く食べ始められるように、手伝う人が増えて給食準備が早くなっています。

2つ目は、提出物のことにについてです。1学期は、各教科の提出物を出さずに終わる人が何人かいましたが、2学期は提出しない人が減りました。内容についてもしっかりとやっており、期日を守ることが身につけてきた人が増えました。

3つ目は、係活動のことにについてです。1学期には、残念ながら仕事を忘れてしまう人たちがいましたが、2学期はほとんどの人が責任をもって仕事をやっていました。

反省点を改善し、良い点をさらに伸ばすために、3学期に取り組みたいことは、1人1人が先生や友達の話をよく聞くこと、場に応じた声の音量を考えること、今は何をすべき時間なのかを意識して行動することです。お互いに呼びかけて、徹底していきたいです。

### 【第3学年】

3年1組 末広 悠陽

私たち3年生の2学期の反省点は、大きく分けて2つあります。1つ目は、学校生活についてです。東中には二分前までに着席し、学習に臨める準備をしようという約束事があります。ほとんどの人はそれができていますが、一部の人は呼びかけがないと着席できないという状況です。最高学年として、しっかりと時計を見て行動していくようにしていきたいです。2つ目は学習についてです。3年生は受験生という立場にあります。しかし、まだ受験に対する意識の差がみられます。一人ひとりが学習に対する意識を高め、集中できる環境づくりに努めていくことが大切だと思います。

2学期を通して成長した点もたくさんありました。例えば、秋風祭でのリーダーシップについてです。今年の秋風祭は、今までよりさらにパワーアップし、係の数が増えたり、活動内容が変わったり、大変なときもありました。それでも3年生のリーダーを中心に、1・2年生をしっかりと引っ張って活動できていました。また、リーダーだけにすべてを任せずに、自分にはできないことはいかとサポートをするなど、周りに配慮をする力がついてきたと感じました。

3学期には、3年生にとって重要な高校入試があります。2学期の反省にもあったように、勉強に対する意識をさらに高めて生活しなければなりません。また、3学期は専門委員会の引き継ぎがあります。3年生として、これまで自分たちが行ってきたことを一・二年生に丁寧に教えていけるようにしたいです。そして、進路実現と卒業に向けて、みんなで協力しあって学校生活を送るようにしましょう。